

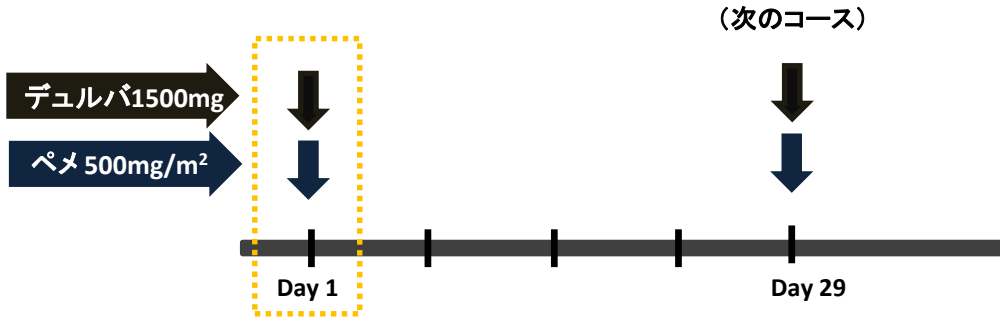
ペメ+デュルバ+GD維持療法

PVCフリー
フィルターあり
催吐リスク:軽度

レジメン概要

シスプラチンまたはカルボプラチン併用療法4コース後、ペメ+デュルバ+トレメリ(5、6コース目)を行った後、7コース目以降の維持療法として、4週間毎に効果のある限り継続する。初回投与の1週間以上前から最終投与後22日目までの間、パンピタン末1g/day 連続内服する。また、VB₁₂(シアノコバラミン)を9週毎に筋注する。

細胞障害性分類
ペメ:非壊死起因性
デュルバ:非壊死起因性



処方

Day 1

Rp 01 点滴静注
生食 50mL1V
* ルートキープ 残廃棄可
* フィルター付きルートを使用 10mL/h

Rp 02 点滴静注
生食100mL1V
イミフィンジ1500mg 130mL/h

Rp 03 点滴静注
生食 50mL1V
150mL/h

Rp 04 点滴静注
グラニセトンバック 3mg ...1袋
デキサート注3.3mg
750mL/h

Rp 05 点滴静注
生食 100mL1V
ペメトレキセド 500mg/m² 800mL/h

Rp 06 点滴静注
生食 50mL1V
* 流し ポンプ外してクレンメ全開
終了後、抜去